

結女だより



No330 2024年10月1日発行

©企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800

お知らせ

《その1》

結女ではデイサービスの利用者さんでご希望の方には、有料で夕食のお持ち帰りお弁当をご用意しています。

お渡し可能な曜日は

月・水・木・金の週4日です。

当日でも注文は可能ですので、ご入用の際には、職員に声をおかけください。

塩分、おかゆなどの対応もしていますので、お気軽にご相談ください。

お支払いは集金と振込とで選べます。

ご家族からの注文も承っています。

《その2》

今の季節は、日中の最高気温も日によってばらつきがありますし、昼間は暑くても、夜になると肌寒かったりして体調を崩しやすいです。

特に暑い夏を過ごした体は、慢性的に疲れていたり、抵抗力が落ちていたりするので、栄養のあるものを食べて、睡眠をしっかりととり、健康に注意しましょう。

《十月 お札のお話》

今年、新しいお札が日銀から発行されました。多分、みなさんのお財布の中には、新旧のお札でなんだか落ち着かない様子ではないでしょうか。

お支払いの時に財布を開くと、地味なのと、キラキラなのがあり、どれを先に使おうかなあと迷ってしまいませんか？古いのを使って、新しいのを残そうかなあ、なんて。

ふと考えました。お札には表右になで人物が印刷されているのか？と。早速調べてみました。大きな理由はふたつで、私たちは人を見分けることに慣れているので偽造防止、よく知られている人を描くことで、モデルに親近感を持ってもらい、銀行への認識を深めてもらう。また、右にあるのはお札を数える時に都合がよいから。デザインも今風ですね。金額は見分けやすくなっています。

新券が出たからと言って今までのお札もお金には変わりはありません。お札詐欺には十分気をつけましょう。

【ひとことコラム】



お昼ご飯を食べながら出てきた話を 少しご紹介します

10月といえば外せない「食欲の秋」この時期には、夏の暑さで疲れ切った身体を癒し、これからやってくる寒さに備えて、身体をしっかりと作り上げることが必要不可欠です。食欲の秋という言葉は、日本では江戸時代から使われていますが、当時は、夏の暑さで食欲が落ちた人々が、秋になって涼しくなり、また稲刈りや収穫などで忙しくなって、よく食べるようになったことから生まれた言葉だそうです。



「スポーツの日」は、毎年10月の第2月曜日に設定されている祝日です。1964年の東京オリンピックの開会式が行われた10月10日を記念して「体育の日」として制定された祝日でしたが、2020年に「スポーツの日」への名称が改められ、日にちも「10月の第二月曜」へと変更されました。スポーツの日は、ちょうど屋外でも過ごしやすくなっていく時期にある祝日。家族や友人と一緒に外に出かけたりしてリフレッシュしたり、テレビでスポーツ観戦を楽しんだりするのもいいですね。

秋の果物といえば真っ先に思い浮かぶ「りんご」です。品種によっては9月～11月頃までりんごの収穫は可能ですが、収穫できるりんごの種類が最も多いのはなんと言っても10月。上旬、中旬、下旬にかけて、およそ60種のリんごが収穫できるそうです。一概にりんごといっても、こんなに沢山の種類があることに驚きます。10月のこの時期には、スーパーにも様々な種類のリんごが並びます。味はもちろん食感など、いろいろ食べ比べてみて、自分の好みのりんごを探してみるのはいかがでしょうか？



10月10日は銭湯の日です。10月10日を数列にして並べると、1010になります。「千(セン)十(トウ)」で「銭湯の日」という語呂合わせ。10月10日は、1964年に東京五輪が開催された日で、スポーツの後にはお風呂で汗を流したり、湯舟に浸かって体を労わることで良い影響があると考えられました。そこで、東京都の公衆浴場商業協同組合が、「銭湯の日」を10月10日に！と提案し、1996年には晴れて、「銭湯の日」は日本記念日協会の認定を受けたそうです。